

町の生活情報紙

—IDE PUBLIC RELATIONS—

# 広報いいで

11

11, November

2010

Vol.1004

なぜ観光振興が必要か？

特集



- 03 特集◎なぜ観光振興が必要か？  
町の観光の現状と課題を検証する
- 10 まちかどNEWS  
萩生石箱遺跡竪穴式住居復元／町高齢者体育レクリエーション大会／置賜農業高校飯豊分校各種研究発表会ほか
- 12 秋の催しをカメラが追う  
いいで秋の収穫祭／地区文化祭
- 14 直伝おふくろの味
- 15 齋藤徹さんが全国フォトコンでグランプリW受賞
- 16 園内いっぱい歌声を  
手ノ子幼稚園・つばき保育園の園歌が決定
- 17 山形県老人福祉大会感謝状・表彰受賞者／がんばりの軌跡
- 18 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 19 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 20 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 22 お寺へ行こうよ。  
置賜三十三観音札所会会長高橋玄舟さんに聞く
- 24 町宝いいで ～宇津峠の道普請供養塔・馬頭観世音碑～

## 町のホームページから

# さらに情報を！

町からのお知らせ情報は、  
飯豊町ホームページ [www.town.iide.yamagata.jp](http://www.town.iide.yamagata.jp)  
でも紹介しています。

知りたい情報は、「検索キーワード」を、ホームページの検索ボックスに打ち込んでください。当該ページへ簡単に移動することができます。

こちらのボックスに「検索キーワード」を打ち込んでください。



## 表紙

## 今月の親子

小白川在住  
安部一博さん(32歳)  
由希子さん(32歳)  
七海ちゃん(7歳)  
悠斗くん(2歳)



左から七海ちゃん、悠斗くん、一博さん、由希子さん

仕事に加え、消防団班長、お祭りの幹事、青年会役員と地域活動で、一博さんは春からずっと忙しい日々が続いてきました。「どうしても子育ては家族に任せきりになって…」と一博さん。でも由希さんは「地域の人たちから信頼されているからこそ」とがんばるパパを応援し、しっかり支えてあげています。



the most beautiful  
villages  
in japan

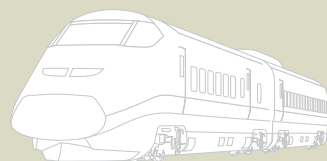
「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

# なぜ観光振興が必要か？



多くの市町村が、観光振興により誘客に力を入れています。観光客の増加は町内にどんな効果をもたらしてくれるのでしょうか。また本町の観光地としての実力はどの程度なのでしょうか。町の観光の現状と課題を現場の声を交えてレポートします。





## 広い分野に及ぶ経済効果

理想的な観光地のあり方として「点から線へ、線から面へ」という表現がある。地域内の観光施設や団体がそれぞれ（点）で事業を展開するのではなく、連携し（線）、地域一体（面）となつて誘客するのが効果的とするものだ。

「観光業」と一口に言っても、その業種は幅広い。主なものを挙げれば、旅行業（旅行代理店）、宿泊業（旅館、民宿）、飲食業（レストラン、ドライブイン）、運輸業（バス会社、タクシー会社）、小売業（お土産屋、直売所）など様々。さらには、宿泊業と飲食業では、地元の食材を提供する場合が多いことから農業にも関係は深い。

つまり観光業が発展し、多くの観光客が町を訪れるようになれば、経済活動が活発化し、多くの産業分野で利益を得ることになる。

観光業のもう一つのメリットは、レジャー施設などの建設を除けば、少ない投資で観光振興を図ることができることだ。多くの観光客は、その地域に元々存在する自然、史跡、お祭り、食文化などを目当てとする。地域資源の上手な活用は、観光地



観光ボランティアの方の案内で散居集落の風景を望む観光客。現在、観光ボランティア「めざまの里案内人」は9名の方が登録し、町の観光ビジュアルに活躍されている

### 検証1

## 現状と課題

The present situation in Iide Town

観光業はなぜ町にとって重要なのか。さらに町の観光振興の歩みを振り返りながら、現状と課題について検証する。



### 町・県・国が関係する 主な町内の観光振興事業

- 1976 とよさと荘オープン  
飯豊町観光協会設立
- 1980 白川ダム湖岸公園完成
- 1982 白川荘オープン
- 1990 しらさぎ荘オープン
- 1993 美しい日本の村景観コンテストで  
農林水産大臣賞受賞
- 1997 めざまの里観光物産館オープン  
源流の森オープン
- 1999 ホテルフォレストいいでオープン  
木湖里館オープン
- 2000 農家レストラン「エルベ」オープン
- 2003 どんでん平ゆり園リニューアル  
オープン
- 2004 東洋のアルカディア郷再生（どぶろく）特区認定

としてのにぎわいの可能性をもたらす。近年、古い建物を残し、昔ながらの街並みを保存する動きが全国各地で広がっているのもその一例だ。地域住民を巻き込んだ魅力的なまちづくりこそが、観光客を呼び寄せるポイントとなっている。

だが、観光業にも弱点はある。例えば、スキー場や植物園などのような自然を利用した施設は、どうしても毎年の気候に左右され、観光客の増減に影響する。また、本町のような豪雪地帯の場合、冬は閑散期となりやすい。

### 開発型観光地づくりの終焉

町では、1980年の白川ダム建設を契機に「飯豊町白川郷リフレッシュ計画」が策定され、白川湖畔を中心とした観光施設

の整備が本格化した。現在も白川湖周辺は、町の主要な観光地となっている。その後、97年にめざまの里観光物産館がオープン。03年には、どんでん平ゆり園が、大型集客施設としてリニューアルオープンする。これまで町が主体となり、観光地化を進めてきた。しかし、今、「開発型の観光地づくり」は見直しの時代を迎えている。

どんでん平ゆり園では、来園者数が伸び悩み、今シーズンのその数は3万4734名で、昨年の3万7367名から約7割ダウンした。白川荘、ホテルフォレストいいでも宿泊客数が減少しており、経営の改善を迫られている。

本町を訪れる観光客数の手ごかりとして、めざまの里観光物

産館の入込客数を見てみると、下表のとおり、近年は50万人前後でほぼ横ばい。長引く不況の影響下にあるとはいえ、観光客数は増加傾向にあるとは言えない。

### 町が一体となった観光戦略

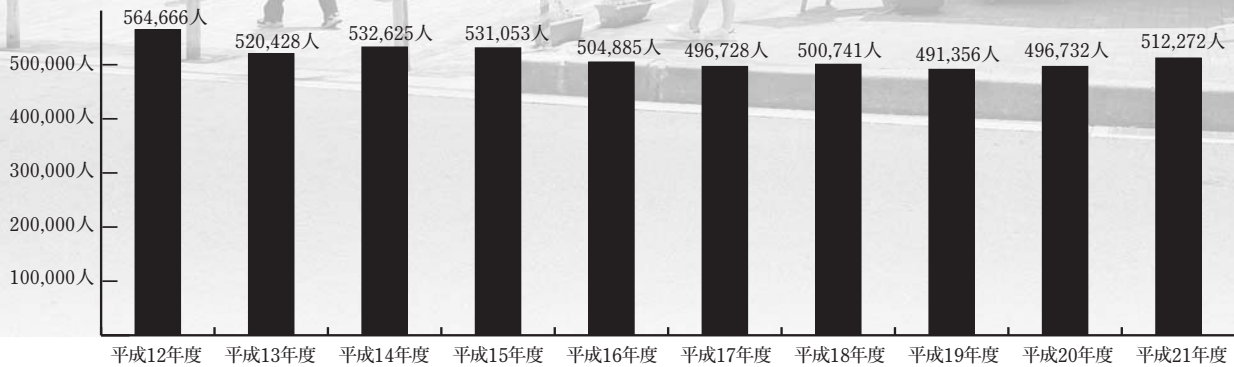
では、今、観光振興のために何が求められているのか。一つには、町民を巻き込んだ魅力的なまちづくりがある。町には、散居集落や中津川地区の古民家のように、日本の農村の原風景が残る。農業が盛んな上、伝統的な風習や食文化も健在だ。これらは、「飯豊町にしかない」観光資源として十分に期待できる。

そして観光に携わる人たちがけではなく、農業や商業などに従事する人たちとスクラムを組み、地域一体となった目標を打ち立て、観光戦略を練らなければならない。「町全体が観光地」という気概を持ちたい。

最後に近隣市町との連携も忘れてはならない。互いに足りないものを補いながら、観光資源のポリュームアップを図る。観光資源の豊富さは、誘客の最大の武器となる。面の広がりはいはり重要なのだ。

### いいでめざみの里観光物産館 年間入込客数の推移

※いいでめざみの里観光物産館で買い物をした延べ人数  
(資料/町産業振興課商工観光室)



## 観光先進地から 大分県由布市 由布院

### 地域一体の 観光振興を 進めるには

由布院は、風情ある温泉地として多くの観光客が集う一方で、独自性ある「地域づくり」にも全国の自治体から脚光を浴びている。

ほかの温泉地で見られるような大型ホテルやネオンの輝く歓楽街はなく、こじんまりとした旅館と美術館、雑貨店などが点在する。田園風景の「ゆつたりとした温泉街」として、特に女性の観光客から支持が厚い。

3町合併前の旧湯布院町の歴史を紐解けば、ダム建設、ゴルフ場建設、高層リゾートマンションなどの開発を住民と町が連携し、阻止してきた経過がある。いわゆる「リゾート法」が施行され、全国で開発型の観光地づくりが進んでいた折でも、あえて湯布院町は、平成2年に条例を制定して大型の建物の建設を規制した。結果的に、当時開発の波に乗らなかったことが、現在の観光産業の隆盛に結びつくこととなった。

「住民みんなが共有できるような将来の地域像を持つこと」が地域づくりの根幹だと由布院温泉観光協会の生野敬嗣事務局長は話す。「住んでよし、訪れてよし」を目指し、由布院はまちづくりを進める。

由布院は盛況におごらず、



観光スポットの一つ金鱗湖(きんりんこ)は紅葉の季節を迎え、多くの観光客でにぎわう

次々とイベントを打ち、観光客へ発信を続ける。環境に優しい乗り物「自転車」による「由布院サイクリングライフ」、オリジナルブランド商品開発など多彩だ。それらを企画し、実行するのは、由布院温泉観光協会の協会の皆さん。民間の行動力がさらに観光客を引きつける。

中でも注目すべきは、「由布院盆地米プロジェクト」だ。期間限定で、由布院の宿泊客に新米をプレゼントするもの。旅館は、市場価格より高く農家から買い取っているという。その理由を生野事務局長は、「由布院の観光資源の一つは田園風景です。その風景を守るには田んぼを守るお米農家と観光業との共存が不可欠です」と説明する。

そこにもまた、由布院の景観を守る地域づくりの努力が垣間見える。



## 生徒の心に響く教育旅行

中津川の白川地区にある食堂「いちりん草」。昨日ここで対面式をしたばかりなのに、1泊2日の教育旅行が終わり、中津川の人たちともう別れのときを迎えた。

女子生徒はあふれる涙を止めることができない。受け入れてくださった家の人と抱き合って別れを惜しむ。男子生徒は、見送る人たちの姿が小さくなるまでバスの中から手を振り続けた。「ありがとう」の言葉とともに。

教育旅行の目的は、山村での農業体験などを通し、自然との共生や農業の尊さなどを学んでもらおうというもの。山や川とは無縁の都会っ子ばかり。なかつがわ農家民宿組合の伊藤信子組合長（山岩倉）は、「生徒を乗せたバスがいつ到着するのかと、みんな楽しんで待っている」と教育旅行を歓迎する。今年も、春から秋にかけて宮城県と千葉県から合わせて6校、352名の中学生が中津川を訪れた。農家民宿全12軒に加え、一般の家庭からの応援も借りて、生徒たちを中津川の家々に滞在させる。

生徒には田植えや稲刈りなど季節に合った農作業が待っている。

Valuable experiences in Iide Town



中津川では中学生の教育旅行や企業の社会貢献事業として都会と農村との交流が進展している。都会の人たちは何を求めて中津川を訪れるのか。

### 検証2

## 飯豊町だからできること



中津川地区での教育旅行にて、涙を流して別れを惜しむ生徒

。体験メニューは、受け入れ先の家が自由に決める。ワラビなどの山菜取りやシイタケの菌打ち、笹巻き作りなど地域性のあるものもしっかり取り入れられている。

「ごちない手つきですが、楽しそうに一生涯作業をしてくれます。本当に素直な子どもたちばかり」と同じく農家民宿を営む五十嵐京子さん（白川）は感心する。都会も田舎も子どもの素直さは変わらないという。

「学校ではいわゆる不良と言われている生徒が、一番懸命に、お家の方のお手伝いをしていた。その子に対するイメージが自分の中で変わった」と別れ際に言葉を残していった先生もいた。人との交流、自然との触れ合いの中で、子どもたちは、本当の自分を解放する瞬間があるようだ。

また伊藤さんも、こんな話をしてくださった。伊藤さん宅で受け入れた4人の女子生徒のうち、一人だけがどうも元気がない。言葉数も少なく、体調の異変と心配した伊藤さんは「○○ちゃん、元気がいけど大丈夫？」と声をかける。するとその子は「おばあちゃん、私を心配してくれてありがとう」と大粒の涙を流したという。女子生徒の日ごろの生活がどんなものかはわ

からない。しかし、「人のぬくもり」に飢えていたのではないかと、伊藤さんは女子生徒に同情したという。

中学生に限らず、「農家民宿にいらっしやるお客さまは、私たちの会話を楽しんでいらっしやる」と伊藤さんと五十嵐さんは口を揃える。都会からのお客さまは、「交流」を求めて中津川まで足を運んでくださっているのではないかと。

### 盛り上がる都市との交流

中津川における交流人口は今、盛り上がりを見せている。「ふるさと山村留学」は、主に埼玉県の小学生を迎え入れる事業だ。さらに社会貢献事業として日本通運(株)とキヤノンマーケティングジャパン(株)が中津川財産区で森林保護活動を展開している。

「中でも日本通運さんとは、日



収穫したワラビを選定する教育旅行の生徒たち。その表情はいきいきとしている

通の森」の協定を結んで4年目となり、今では社員の方が家族を連れて中津川へプライベートで訪れてくれるようになりまし「た」と緑のふるさと公社の伊藤浩一郎専務取締役は、交流の進展を評価する。中津川ではさらに地域をあげて都市からの交流人口の増加を目指す。

## ノウハウを次の世代へ

農家民宿は、平成19年の立ち上げからたちまち評価は高まり、週刊誌の巻頭グラビア記事でも紹介されるほどになった。村おこしの先進地として、県内外からの視察は後を絶たない。

さらに今年初めて「日本の田舎に泊まろうツアー」として台湾からのお客さまを受け入れた。「言葉の壁があり、おもてなしはとても疲れましたが、台湾の方もとても喜んでくださったので良かった」と伊藤さんと五十嵐さんは話す。

だが、なかつがわ農家民宿組合の皆さんの真の目的は交流人口の増加ばかりではない。農家民宿を地域の生業として確立し、定住対策に結び付けることだ。

「ここまで築いた農家民宿の知名度とノウハウを一刻も早く若い世代に引き継ぎたい」。それが伊藤さんの願いである。



社会貢献活動で来町した日本通運㈱の社員とその家族の皆さん。交流は4年目となり、プライベートな旅行で町を訪れる方が増えてきているという



なかつがわ農家民宿組合の伊藤信子さん(左)と五十嵐京子さん(右)は、「自然体でお客さまを迎えることを心がけている」と話してくださった

## INTERVIEW

飯豊町観光協会事務局

二瓶裕基さん

Nihei Hiroki

### 現場インタビュー

## 今、お客さまは何を求めているのか？

### 一声かけて価値を高める

残念ながら観光地として飯豊町の地名はまだまだ全国規模ではありません。

しかし今、テーマパークやリゾート開発などで名乗りを上げた観光地は、観光客の激減で苦境にあえいでいます。それはお客様の旅行に対する志向の変化が影響しています。人工的なものよりも昔から存在した本物に触れたいと望むようになってきたからです。町民の皆さんの身の回りの山、川、農業、雪のすべてが都会の人からすれば本物であり、観光資源なのです。

旅行業の方々からも「飯豊町で仕事を組んでみたい」と声かけしてもらえようになつてきました。散居集落や手付かずの自然が観光地として潜在能力を秘めていると、評価してくださっています。

ここからさらに前進するためには、「田舎の付加価値」をつけ

ることです。その一つに「人の温かさ」があります。多くのお客さまは地元の人との交流を喜びます。旅行者は、歩道で子どもたちから「こんにちは」とあいさつされ、大人からは「ないもないところさ、よくござった」などと声かけを受けます。

印象はぐんと良くなります。人が関わることで、温かい町となり、「いいところだ。また来たい」と。どうか旅行者の方にはよそ者扱いではなく、歓迎の言葉をかけてあげてください。それは飯豊町が観光地としてレベルアップするための最初の試金石とも言えます。

ただし、待っていても人は来ません。観光協会では今後もテレビ、ラジオなどの取材を積極的に誘致し、全国へ飯豊町の魅力を発信していきます。



飯豊町観光協会 ●観光振興による会員への利益還元を目的とし、誘客活動や観光事業の企画運営などにあたる。職員数は現在4名で羽前橋駅に事務所を置く



# お客さまと向かい合う 現場の方にインタビュー

INTERVIEW

観光の活性化のためには、客層のターゲットをしっかりと定めることが大切だと思います。年齢層、性別が異なれば、当然、お客さまが旅先で求めるものも異なるはず。個人的にはお子様のいらっしゃる家族に着目しています。飯豊町には都会の子どもたちが目を輝かせる自然の宝がたくさんあります。当館に宿泊されたご家族の方をカブトムシ採りやホタルウォッチングなどにご案内すると、とても喜んでくださいます。子ども

の喜ぶ表情は、親にとって旅の充実感となり、リピーターとして次回が期待できます。ゆり園の展望台から眺める散居集落の風景もまた多くのお客様に感動を与えています。ただ残念ながら、ゆり園のシーズン中は展望台へ上る林道が園のゲートで閉じられてしまいます。初夏のきれいな季節だからこそ、ゆり園に訪れたお客さまはもちろん、そうでない方でも気軽に車で展望台まで行ける方法を講じてもらいたいです。

## お客さまのターゲットを しっかり定めることが大切

自然を満喫し、地元の食材を生かした料理を食べてもらい、そして帰りには町内の農産物を買ってもらおう。例えばお土産にお米を買ってもらい、帰宅後に家で食べて気に入ってもらえれば、農家と直接売買取る関係が生まれることも期待できます。

農業が重要な産業になる時代が間もなく来ると私は考えています。美しい田園風景を大切に守り続けることで、飯豊町の価値は高まっていくのではないのでしょうか。

湯ノ沢間欠泉「湯の華」の9割は県外からのお客様です。遠くは九州や四国などから飛行機でいらつしゃつてくださいます。湯ノ沢間欠泉の名前が、県外に広く知られるようになった理由として、全国ネットのテレビ番組で紹介していたこと、さらに湯の華では、「日本秘湯を守る会」に加盟し、全国約80万人の会員の皆さんへピーアールし、集客の効果をえています。しかし、それらの根本にあるのはやはり「日本でたった

## 最終的にお客さまと飯豊町をつ なぐのは、人と人との心の交流

一つの入浴できる間欠泉」という希少価値です。全国に一つしかないものが存在するというのは、町にとって貴重な観光資源だと考えます。国内には自然が豊かで、かつ豪華絢爛な温泉旅館が立つ観光地はたくさんあります。そんな中で、どうやって飯豊町でしか得られない満足感やサービスを提供できるかが、お客さまから選ばれる大きな鍵になると思います。町内には観光施設は十分に

整備されたと考えます。これから必要なのは、山を荒廃させずに昔ながらの里山文化を守ることだと思います。最終的にお客さまと飯豊町をつなぎとめるのは、人と人との心の交流ではないでしょうか。素朴さと温かさは飯豊町の原点です。心からの親切心でお客さまに接することが大切です。誠意のある対応なのか、言葉遣いなのか、お客さまには見抜く力が十分にあります。接し方一つで土地の印象は変わってしまいます。

湯ノ沢間欠泉 湯の華  
代表取締役

伊東直吉さん

I t o N a o k i c h i



がまの湯温泉 いいで旅館  
女将

山口順子さん

Y a m a g u c h i J u n k o





# 観光振興に必要なもの

飯豊町の観光に欠けているものは何か？  
 どうすれば観光振興が図れるのか？  
 観光業の現場に立つ人たちからお話を伺った。



旅行の形態は、大型バスの団体旅行からマイカーでの家族・友人の小グループ旅行へと主流が変わってきています。日程に追われず、ゆっくりと旅を楽しむものです。

若い人の間では、インターネットで、観光スポットや人気の飲食店などを十分に調べた上で、旅行に出発するのも近年の特徴です。

観光業にとって最も大切なことは「いかに流入人口を増やし地域に利益を還元できるか」だと、私は思います。

飯豊町の観光資源はなんといつでも自然だと思っています。しかし自然は全国どこにでもあるものです。お客さまを引きつけるためには、飯豊というブランドを作り上げていくことが大切になります。

まずブランドとは何かと考えたとき、観光地の場合、地名を言われてすぐにその土地の風景を思い浮かべることができるというのが一つの目安だと思います。たとえば「富良野」と聞けばラベンダー畑を思い出すようにです。

## 統一性のある宣伝で飯豊のブランド化戦略を

本町には、散居集落、飯豊山と白川湖など、ほかの地域にはない印象的な景観に恵まれています。ブランドとなる景観の要素は十分にありま

また、町内の観光業が連携し、統一性のある宣伝を打つことは、ブランド化戦略の一つとなります。例えば町内の宿泊施設や集客施設に共通したデザイン看板を設置したり、観光業に携わる人たちが同じTシャツを着てお客さまにサービスを提供したりと、アイデアはさまざまです。

さらに観光客の増加のためには、観光業界のネットワークづくりも重要です。キャンペーンやイベントを行うとき

## いかに流入人口を増やし地域に利益を還元できるか

そのためには、町内で客足が順調に伸び、がんばっているところがあれば、それをみんなまで応援する姿勢が大切です。その知名度が上がれば、町の名前もおのずと有名になり、町を訪れるお客さまが増えることにつながります。結果的に一カ所だけではなく、地域全体に経済的な波及効果が生まれます。

さらに観光客の増加のためには、観光業界のネットワークづくりも重要です。キャンペーンやイベントを行うとき

は旅行代理店や交通会社とのタイアップは欠かせません。観光地としての魅力をしっかりと伝えられる営業力と人のつながりが求められます。

町の観光の課題は、電車を利用していらっしやうた方に対する2次交通の確保と、農家民宿やわらび園といった重要な観光資源を持つ中津川地区において、それを担う後継者が不足していることです。いずれも町、地域、観光業が知恵を出し合って考えていかなければなりません。

いかに観光地としての熱意や姿勢が訪れた人たちに伝わるかが鍵だと思っております。

さらに、ブランドの確立だけではなく、最たるものは「楽しい思いをして、感動して帰ってもらいたいこと」だと考えます。ゆり園の場合、ユリをいかに満開にしてどう演出するかが大きな課題です。「飯豊町に来てよかった」と、感動してもらえれば役割をやり果たせるように、これからも努力は惜しまないつもりです。

いかに観光地としての熱意や姿勢が訪れた人たちに伝わるかが鍵だと思っております。

さらに、ブランドの確立だけではなく、最たるものは「楽しい思いをして、感動して帰ってもらいたいこと」だと考えます。ゆり園の場合、ユリをいかに満開にしてどう演出するかが大きな課題です。「飯豊町に来てよかった」と、感動してもらえれば役割をやり果たせるように、これからも努力は惜しまないつもりです。



どんでん平ゆり園  
 マネージャー  
**大道寺崇さん**  
 Daidoji Takashi



いいでめざみの里観光物産館  
 取締役専務  
**安達純一さん**  
 Adachi Junichi

まちかどニュースは、皆さんの広場です。  
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。  
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線222



### 萩生石箱遺跡竪穴式住居復元

## 先人の知恵と苦勞を学ぶ場に

10月23日、萩生石箱遺跡竪穴式住居が復元され、関係者約30人が参加して完成を祝いました。遺跡は約4,000年前の縄文中期のもので、昭和61年に初めて竪穴式住居を復元。しかし老朽化により、町の補助を受け、萩生区協議会が復元に着手しました。今春から準備を進め、役員の皆さんが中心となり延べ14日間の組み立て作業で完成させました。同協議会の嘉藤幹夫会長は「子どもたちが先人の知恵と苦勞を学ぶ場になって欲しい」と話してくださいました。

### 町高齢者体育レクリエーション大会

## 声援響く健康づくり



10月19日、白椿地区公民館体育館を会場に、町高齢者体育レクリエーション大会がありました。町内11地域から約350名が参加。公式ワナゲなど4種目の競技が繰り広げられ、会場は仲間への声援に包まれていました。また、今大会では町老人クラブ連合会が企画して「おしどり金婚さん」顕彰贈呈式が行われ、結婚50周年を迎えた夫婦14組に佐藤秀之山形新聞長井支社長から記念品が贈呈されました。

### ふれあいグラウンド・ゴルフ大会

## 赤い羽根共同募金を募る



10月5日、黒沢地区の「すわんぱーく」を会場に赤い羽根共同募金チャリティふれあいグラウンド・ゴルフ大会が開かれました。グラウンド・ゴルフでの交流を通し、広く募金を募ろうと町社会福祉協議会が企画。町内の65歳以上の愛好家約60名が参加し、秋晴れのもとさわやかな汗を流すとともに、会場に設置された募金箱に次々と寄付をされました。赤い羽根共同募金は、地域の福祉向上のために使われます。



## 置賜農業高等学校飯豊分校校内プロジェクト発表会

## 地域に根ざした研究の成果

10月30日、町民総合センター「あ〜す」で置賜農業高等学校飯豊分校校内プロジェクト発表会が行われました。生徒や保護者など約100名が参加。2・3年生で構成する6つのプロジェクトチームが、研究の成果を発表しました。「ヤマユリ栽培に挑戦!!」、「河川環境ドック『白川水域調査隊』」と題した地域に密着した研究も多く発表され、来場者の関心を集めていました。そのほか1年生の作品展示やユリ根と玄米を使った「リリーどら焼き」の試食会も行われました。

## 白川ダムビジョン推進会議自然観察会

## 草木塔巡りと森林・巨木探検



10月2日、中津川地区で白川ダムビジョン推進会議による自然観察会が行われました。テーマは、草木塔巡りと森林・巨木探検。町内外から約25名が参加し、地域の方の案内で小屋・広河原地区に現存するカツラ、トチノキなどの巨木を観察し、さらに置賜地方独特の樹霊信仰である草木塔の説明を受けました。参加者は「幹周りが8.4mもある巨木があり驚きました」と自然の雄大さを感じ入っていました。

## ほのぼのサロンレクリエーション大会

## みんなで取り組む介護予防



10月20日、東部地区公民館で、ほのぼのサロンレクリエーション大会がありました。ほのぼのサロン(杉本あい子会長・添川)は、町内12地区で高齢者の介護予防を推進する民間組織。この日は、合同大会として全域から会員約160名が参加し、シャンシャン体操やグラウンド・ゴルフなどが行われました。杉本会長は「本会を通して健康づくりと仲間づくりに役立ててもらいたいです」と話してくださいました。



ミニミニ運動会  
(こどもみらい館)



びっくりサツマイモ  
(萩生・伊藤徳雄さん生産)



町芸能発表会  
(あ〜す)



## いいで秋の収穫祭

①野菜、果物、乳製品まで多彩な農産物が並んだ直売コーナー。雨にもかかわらず、お目当ての品を求めて多くのお客様が会場に足を運んでくださった ②南房総市の直売所からはホタテを焼くいい香りが漂い、お客様の食欲をそそった ③抽選会場で「つや姫」の新米をプレゼントする置賜農業高等学校飯豊分校の生徒。同校の全生徒が学校行事として収穫祭に参加し、イベント運営のお手伝いをしてくださった



「いいで秋の収穫祭」は、十一月三日、町民総合センター「あすす」で行われました。町内で生産された農産物や食品などを直売。雨降りの寒い一日でしたが、新鮮な農産物が安く買えることから多くのお客様が詰めかけにぎわいました。今年も本町の姉妹都市である千葉県南房総市の皆さんも出店してくださり、一回三百円の「さんまつかみ取り」は、完売するほどの人気ぶりでした。

町内各地区の文化祭は、公民館や小学校などを会場にして、十月三十日・三十一日に開かれました。芸能発表、もちつき大会、映画上映、売店など、幅広い年代が楽しめるプログラムが組まれ、ここも多くのお客様までにぎわっていました。さらに趣向と技巧を凝らした作品と公民館活動の記録などが会場いっぱいに展示され、訪れる人たちの目を楽しませていました。

# 秋の催しを追う



農産物と海産物を新鮮直売

充実のプログラムと作品展示

autumn festival 2010

## 地区文化祭から展示品を紹介

- NO\_1 中部地区 出品者/鈴木榮子さん(黒沢) 「さをり織り」を使った衣装
- NO\_2 白椿地区 出品者/遠藤祐寛さん(椿) 椿劇場が配布した当時の映画上映チラシ
- NO\_3 東部地区 出品者/梅津拓雄さん(添川) 白川湖を描いた洋画
- NO\_4 西部地区 出品者/高橋空さん(手ノ子) ダンボール製の手作り獅子頭
- NO\_5 中津川地区 出品者/山口泰子さん(宇津沢) アケビのつるを編んで作ったかご



NO\_1





5

白 椿 地 区



4

中 部 地 区



6

東 部 地 区

## 地 区 文 化 祭

4 中部地区文化祭／食生活改善推進員の皆さんによる試食サービスではカルシウムだんごなど3品目を提供。味も栄養バランスも最高！  
 5 白椿地区文化祭／第二小6年生による念仏踊り。地域の人たちが集う文化祭で伝統芸能を披露する価値は高い  
 6 東部地区文化祭／毎年盛り上がりを見せるもちつき大会。子どもからお年寄りまでつくたてのもちを堪能した  
 7 西部地区文化祭／手ノ子小6年生は、創作劇「宇津峠物語」を発表。史実に基づき、宇津峠を伊達政宗、良寛、西郷隆盛が歩いた軌跡を熱演  
 8 中津川地区文化祭／総勢約120人で31m78cmにおよぶ太巻を完成。お米はぜいたくに「つや姫」の新米11升を使用。来年は長さの記録更新を目指す！



7

西 部 地 区



8

中 津 川 地 区



NO\_5



NO\_4



NO\_3

autumn festival 2010

## 直伝おふくろの味



炊飯器を使って簡単においしく出来る

## チーズケーキ

## 【材料】（8人分）

◇クリームチーズ	200	200
◇生クリーム	200	cc
◇卵（L）	3	個
◇砂糖	80	g
◇薄力粉	大さじ3	杯

## 【作り方】

- ① クリームチーズはレンジを使うか、冷蔵庫から出しておき、柔らかくしておく。
- ② ①と砂糖、薄力粉をフードプロセッサで混ぜ合わせる。
- ③ さらに②に溶いた卵と生クリームを2回に分けて入れ、滑らかになるまで混ぜる。
- ④ ③を3合炊きの炊飯器に入れて炊飯ボタンを押す。
- ⑤ 炊飯が終わったら15分ほど保温し、その後さらに炊飯ボタンを押す。
- ⑥ 炊飯が終わったら電源を切って、そのままの状態ですぐ2時間半ぐらい置いておく。
- ⑦ ラップを敷いた上に、炊飯器の釜を逆さにしてケーキを出し、そのままラップで包んで、冷蔵庫に入れ、4～5時間ほど冷やして出来上がり。

※機種によっては2度炊きできない炊飯器もあります。事前に確認ください。

## お子様と一緒に作ってみてはいかがですか



黒沢地区  
食生活改善推進員  
手塚美栄子さん

このチーズケーキの作り方は、友達から教えていただいたものです。炊飯器で作れる手軽さから、家族や会社の同僚などに食べてもらったところ、大好評でした。使用する炊飯器は、出来るだけ大きいサイズから3合炊きが最適のようです。また、釜の形状は丸型と平型のどちらでも大丈夫です。

料理のポイントには、クリームチーズを十分に柔らかくしておくことと、材料の分量をしっかり守ることです。そのことで食感も味もだいぶ違ってしまふようです。また、冷蔵庫で十分に冷やすことで、ケーキの中がしっかりと固まります。アレレンジとしては、レンジを練りこんでも良いでしょう。

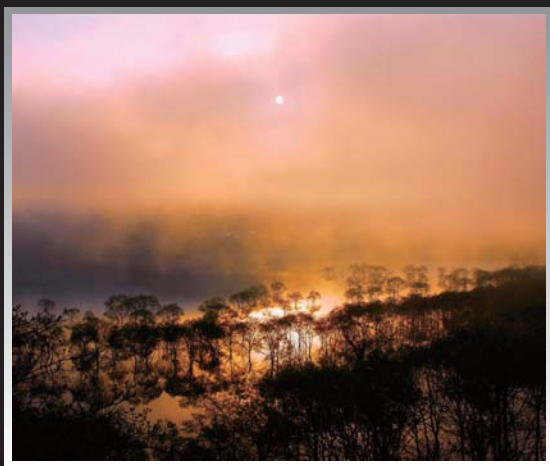
誕生日会やクリスマスなど、いろんな場面で役立ちます。お子様に計量を手伝ってもらうなどして、ぜひご家庭でケーキ作りを楽しんでみてはいかがでしょうか。



「日本で最も美しい村」連合フォトコンテスト・グランプリ受賞

## 「皐月田の朝」

(撮影場所／どんでん平ゆり園展望台から)



全国水源の里フォトコンテスト・グランプリ受賞

## 「幻想の朝」

(撮影場所／白川湖)

*Saito Toru's works are  
exquisite, powerful, beautiful*

齋藤徹さんが全国フォトコンでグランプリW受賞

# 写真の力で飯豊の名と風景を 全国に広めた功績は絶大

いいでフォトクラブ会長・齋藤徹さん（松原）が、「日本で最も美しい村」連合フォトコンテスト、全国水源の里フォトコンテストで共に最高賞のグランプリを受賞しました。本町の景観の美しさが、齋藤さんの作品によって全国に証明された形となりました。

### 「空気感が伝わる」作品

町が加盟する「日本で最も美しい村」連合と全国水源の里連絡協議会は今夏、それぞれに全国フォトコンテストを開催しました。撮影対象は、加盟する市町村。全国の写真愛好家から「美しい村」は837点、「水源の里」は300点の応募が寄せられ、齋藤徹さんが最高賞であるグランプリを共に受賞する快挙を成し遂げました。ご存知のとおり齋藤さんはいいでフォトクラブの会長を務め、写真技術の高さはこれまでも数々のフォトコンテストで評価を得てきました。

「まさかどちらもグランプリをいただくなんて思いもしませんでした。入選ぐらいになればいいなあ、という気持ちで応募したのですが」と齋藤さんも驚きを隠せません。「美しい村」のフォトコンテストのテーマは、日本で最も美しい村の情景。「皐月田の朝」と題し、齋藤さんは朝焼けに映える散居集落の風景を見事にとらえました。審査委員長からは「朝早い空気感や色が非常にきれいに撮れている」と露出の技術を含め、高



カメラを手にする齋藤徹さん

く評価されました。

一方、「水源の里」は、日本の原風景である水源の里の魅力が表現されていることがテーマ。日が昇る前の暗いうちから白川湖に足を運び、朝もやの中からゆっくりと浮かび上がる神秘的な風景を丁寧にレンズに収めました。審査員には日本写真家協会会長の名前も連なり、その目になった作品の価値は言うまでもありません。表彰式は、今月17日に東京都で行われます。飯豊の美しい風景を、最も美しい瞬間にとらえた作品が、全国の人たちの目に触れる機会を得たことは、町にとって宣伝効果は計り知れません。「ふるさとの美しさと大切さを伝えるために、記録として写真を残していきたい」齋藤さんは、今日もシャッターを切り続けます。

齋藤徹さんが全国フォトコンでグランプリW受賞

手ノ子幼稚園・つばき保育園の園歌が決定

# 園内いっばいに歌声を

本紙5月13日号で募集しました手ノ子幼稚園・つばき保育園の園歌が決定しました。応募作品の中から審査の結果、手ノ子幼稚園は松山愛さん（手ノ子）、つばき保育園は宇山基道さん（椿）の作品が選ばれました。両作品とも、明るい曲調に町の豊かな自然の中で伸

び伸びと育つ園児たちの姿が描かれています。

新しい園歌は、11月20日(土)に町民総合センター「あ〜す」で開かれる“めざみの里音楽祭”で園児たちが歌って発表します。元気な歌声と魅力あふれる園歌をどうぞお楽しみに。

## 手ノ子幼稚園園歌

作詞・作曲／松山愛 編曲／土屋和彦・小松伸子

Tenoko

今日も元気に おはよう  
お日さまきらきら  
こんにちは  
わたし 友だち大好き  
みんなと仲良し 楽しいな  
笑顔いっばいの  
元気 手ノ子幼稚園

てんとう虫さん おはよう  
かえるもぴょんぴょん  
こんにちは  
ぼくたち 生き物大好き  
だいじな命 宝物  
笑顔いっばいの  
元気 手ノ子幼稚園

とうもろこしさん おはよう  
トマトもすくすく  
こんにちは  
みんな だろんこ大好き  
ひとみかがやく 仲間たち  
笑顔いっばいの  
元気 手ノ子幼稚園



まつ やま あい  
**松山愛さん** 手ノ子在住／会社員／30歳

自分が手ノ子幼稚園に通園していたときのことを思い出しながら歌を作りました。命あふれる自然に囲まれ、虫採りやだろんこ遊びなどをして元気に遊んだ幼少期は、大人になった今も大切な思い出として輝いています。

私が思う手ノ子・高峰地区の良さは、地域の人たちみんなで子どもたちを守ろうという気持ちが

### INTERVIEW

歌に込めた思い

あることです。そんな中で育つ子どもたちには、自然を大切し、周囲の人たちを思いやる気持ちをもち続けてもらいたいです。

私の作った園歌が、後輩たちに歌ってもらえることはとても名誉なことであり、“地域の元気の象徴”として、手ノ子幼稚園がずっと在り続けてくれることを願わずにはられません。

## つばき保育園園歌

作詞・作曲／宇山基道 編曲／土屋和彦・小松伸子

Tsubaki

月が田んぼに落っこちて  
まんまる笑顔で苗を待つ  
水は山から駆け下りて  
『大きくなれよ』と夏を呼ぶ  
みんなも一緒に笑ってる  
みんなも一緒に呼んでいる  
つばき つばき つばき保育園

おひさま田んぼを照らしだす  
照らされ稲穂はうつむいた  
そろそろ美味しい実をつけて  
『食べてごらん』と秋を呼ぶ  
みんなも一緒に照らされて  
みんなも一緒に呼んでいる  
つばき つばき つばき保育園

お米の色は雪の白  
ふるさとの色 冬の色  
冬は北風連れてきて  
『強くなれよ』と春を呼ぶ  
みんなも一緒にふるさとの  
みんなも一緒に呼んでいる  
つばき つばき つばき保育園  
つばき つばき つばき保育園



う やま もと みち  
**宇山基道さん** 椿在住／介護職・ミュージシャン／34歳

この春から家族と共に飯豊町に移住しました。地域の方々と知り合っていく中で、飯豊町は「米づくり」を中心に人々の営みが成り立っているのだと感じました。

米づくりは、家族の中の世代交代の象徴であったり、地域の行事に強く根付いています。また、“5人組”という地域社会の仕組みが今に残り、近

隣同士で助け合う精神が息づいています。

そして私自身、稲の生長と共に表情を変える田園風景の美しさに魅せられています。

「自分のルーツに誇りを感じて欲しい」、そんな願いを園歌に込めました。子どもたちには、自由な感性で歌詞を感じ取ってもらい、型にはまらず元気よく歌ってもらえれば幸せです。

### INTERVIEW

歌に込めた思い



老人福祉の推進に寄与・山形県老人福祉大会  
町から6名が感謝状・表彰を受賞



大会の壇上に立つ横山利一さん(右)と吉村知事(左)

横山利一さんが代表して感謝状を受け取る

10月20日、鶴岡市文化会館で山形県老人福祉大会が行われ、本町から6名の方が県知事感謝状、老人クラブ連合会会長表彰をそれぞれ受賞しました(受賞者の皆さんは下記の通り)。高齢者に対する善行と高齢者福祉への貢献によるものです。受賞者を代表し、横山利一さん(黒沢)が壇上で、吉村美栄子県知事から感謝状を受け取りました。

横山さんは、血縁関係のない同じ地域に住む一人暮らしの高齢者に対し、買い物や通院の介助をするなど、長年にわたり個人的な善意で生活を支援してきました。受賞の感想について横山さんは、「私の力だけではなく、地区の皆さんや福祉関係者の方々のご協力があったことです。お世話になった皆さんを代表して感謝状をいただいたと思っています」と話してくださいました。

(敬称略)

◆山形県知事感謝状

- ◇血縁関係のない老人の面倒を見てきた者/横山利一(黒沢)
- ◇老人クラブの指導育成に特に貢献

- のあった者/手塚巳代子(黒沢)
- ◇老人福祉施設などにもしくは老人ホームヘルパーに15年以上業務に精励し、他の範と認められる者/二瓶たず子(ひめさゆり荘)、須藤たみ子(同)

◆山形県老人クラブ連合会会長表彰

- ◇老人クラブ育成指導功労  
伊藤千代(萩生)  
須貝宗助(下屋地)



(敬称略)

◆町総合体育大会

- ◇ゲートボール
  - ①椿 ②東部 ③小白川
  - 最優秀選手/住吉吉郎(椿)
  - 優秀選手/横山源作(東部)
- ◇グラウンドゴルフ・団体男子
  - ①椿 ②萩生 ③手ノ子
  - 最優秀選手/鈴木寛幸(椿)
  - 優秀選手/高橋利広(萩生)
- ◇グラウンドゴルフ・団体女子
  - ①小白川 ②椿 ③萩生
  - 最優秀選手/安部早苗(小白川)
  - 優秀選手/加藤静子(椿)
- ◇グラウンドゴルフ・個人男子
  - ①遠藤芳昭 ②長岡功
  - ③鈴木寛幸

- ◇グラウンドゴルフ・個人女子
  - ①二瓶ちよ ②後藤とみ子
  - ③佐藤良子
- ◇パークゴルフ・男子
  - ①五十嵐健一 ②細谷光男
  - ③井上克夫
- ◇パークゴルフ・女子
  - ①二瓶ちよ ②那須絹子
  - ③渡部きよ
- ◇柔道/小学1・2年生の部
  - ①長沼有紀
- ◇柔道/小学3・4年生の部
  - ①伊藤康平 ②鈴木優也
- ◇柔道/小学5・6年生の部
  - ①伊藤康隆 ②大場圭吾
  - ③塚田朝陽 ③樋口柗亮
- ◇柔道/小学生女子の部
  - ①高橋瑞穂 ②今野瑞帆
- ◇柔道/中学生軽量の部
  - ①舟山祐司 ②今野拓海
  - ③佐藤遥平 ③小浦蒼
- ◇柔道/中学生重量の部
  - ①伊藤光希 ②舟山広大
  - ③横山大 ③山口勇毅

- ◇柔道/高校・一般の部
  - ①小松光 ②野口正良
  - ③樋口兼光 ③伊藤和憲
- ◆山形県少年少女スポーツ交流大会
  - ◇ソフトボール競技・少年の部  
第1位/白樺ソフトボールスポーツ少年団
  - ◇卓球競技・男子団体C  
第3位/飯豊町卓球スポーツ少年団
- ◆長井・西置賜地区防火ポスター
  - ◇5・6年生の部優秀  
小浦翼(第一小)
- ◆HAPPY COME COME 8020達成者表彰(80歳以上になっても自分の歯を20本以上残す運動)
  - ◇優良/江袋いく(椿)  
舟山清一(手ノ子)
- ◆山形県・県民福祉大会
  - ◇県知事表彰  
鈴木由美子(町社会福祉協議会)
  - ◇大会会長表彰  
嘉藤美和子(同)  
あかね会(萩生・第一小)

# ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



シリーズ第1弾：スポーツ少年団

## 白樺バレーボールスポーツ少年団

- ◆監督／梅津和宏さん(椿)
- ◆コーチ／伊藤靖さん(椿)、鈴木司さん(椿)
- ◆団員／10名
- ◆練習日／毎週水・金曜日(18:00～20:00)
- ◆練習場所／第二小体育館

●スポーツ少年団入団などのお問い合わせは、町教育委員会内スポーツ少年団事務局まで☎72-3086(町民スポーツセンター)

◆団員募集対象／小学3～6年生、中学生可

◆クラブのピーアール

バレーボールは、チームワークが試合で最も大きな力を発揮します。だからこそ白樺バレーボールスポーツ少年団では、技術の練習同様に「しっかりあいさつ」「大きな声で返事」、「感謝の心」を身につけることを大切にしています。3年生から6年生の団員で構成するチームは、身長や体力の差など互いの欠点を補いながら、団結力で勝利を目指します。「試合で得る緊張感・競争心・達成感を子どもたちにはたくさん経験させたい」と指導者の皆さんは話します。



梅津監督にとって  
バレーボールとは…  
仲間が全員で助け合って  
勝利をつかむスポーツ

◀梅津和宏監督

連載  
随想

### 「知事にあげた週刊誌」

## 町長の思つて歩き

19

後藤 幸平

事件の第一報は岩手山の麓で受け取った。

「町長、全国ニュースまだ見てないですか。熊です。また熊が現れました。親子の熊三頭が屋敷の木に登って大騒ぎ…」

とうとう来たか。しかしよりによって遠く町を離れている時に何とこのことだ。対策本部加藤事務局長の緊迫した声を携帯で受けながら気を引き締めて対応を指示した。熊被害防止対策本部を設置したのは添川の高橋さんご夫婦が玄関前で襲われる大ケガをされた後、再び集落に現れることを予測して手順を議論し準備していたからまずは助かった。吹き矢の麻酔力をもろともしない母熊のパワーに手こずったものの、幸い住民に危害はなく親子熊三頭は飯豊の自然に帰って行った。

十月二十九日、県庁講堂で開催された知事との意見交換会。県内三十五市町村の首長と議長が勢揃いする中、吉村知事から会議終了間際やんわりと投げかけられた。

「飯豊の町長さん、その後熊の被害はどうですか。私にも野生動物の近くで暮らす不安はないかと問い合わせがたくさん来ます」

就任して二年も経てば、新米町長を理由に遠慮しているわけにもいかない。被害対策や野生との共生、大自然の舞台を活用した町おこしと若人の交流、人口減少脱出への舵取りなど県と市町村が協力して広域でやります。飯豊もがんばりますと話の筋書きを強引に「婚活」に引張って説明した。その時傍で聞いておられた菅野議長は、あの週刊誌、知事に紹介したらとの合図。その週発行の『週刊現代』には、スペシャル紀行山形の秋日本再発見知られざる穴場。に、飯豊の農家民宿が大きくグラビアで掲載されていたのだ。『週刊現代』をとっさにカバンから取り出してお見せすることになった。会議終了後、知事に差し上げようとしたら、高橋副知事が、私がお預かりしますと直接手渡しすることは出来なかったのであった。残念。



こどもみらい館の予定表  
(11月・12月の日程)

会場/☆印は「あ～す」  
ほかは「こどもみらい館」

- 11月16日(火) 10:00～ マリンバコンサート☆
- 17日(水) 10:30～ おはなし広場
- 19日(金) 10:30～ 救急講習会
- 25日(木) 10:30～ かんがるー広場
- 12月4日(土) 10:30～ ブックスタート広場
- 7日(火) 10:30～ あそびの広場
- 10日(金) 10:30～ 保健師さん指導
- ◆風邪予防・感染症対策・子育ての悩みについて
- 15日(水) 10:30～ おはなし広場
- 17日(金) 10:30～ クリスマス会
- 22日(水) 10:30～ おはなし交流会

※クリスマス会、おはなし交流会は、12月7日までに参加の申し込みが必要です

episode

子育て応援  
kosodate  
ouendan 談

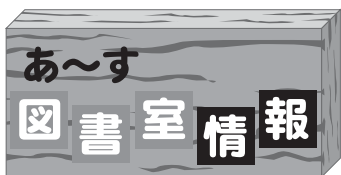
我が家の台所コミュニケーション  
「母と子の大切な時間」

帰ってきてまずは「今日は何？」と晩ご飯のメニューを聞く。それから今日の報告が始まる。「○○ちゃんと○○して」「先生が…」などうれしかったことや悲しかったこと、もやもやした気持ちなど一日の出来事を、ときには早口になりながら懸命に伝えようとする。私は家事をしながらも聞き漏らしのないように努める。「そんなことがあったんだ」「○○ちゃんと友達なんだ」と相づちを打つと、子どもに満足そうな表情が浮かぶ。これで今日一日の仕事が終わったと言わんばかりに。

ちょっとした時間の会話だけで、子どもを取り巻く様子を知ることができた。それは私にとって大切な情報源であり、親子のコミュニケーションの場でもある。心がけたのは大人が先に話すより、上手な聞き手に徹することだった。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日  
利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



今月の  
おすすめ図書



児童図書

「ブンタとタロキチ」

丘修三/作 ひろかわさえこ/絵  
文研出版

キツネのブンタとタヌキのタロキチは友だち。友だちだけど、喧嘩もする。喧嘩もするけど、ふたりはやっぱり友だち! 「サワガニとり」「うそムシ」「いけぼり」の3編を収録。



児童図書

「てんぐのそばまんじゅう」

深山さくら/作 長谷川義史/絵  
ひさかたチャイルド

昔、かむろという山の中に、じいさまとばあさまが住んでいた。ある春の日のこと、ふたりがワラビを摘んでいると、裏の林で枝の折れる音がして…。新しい民話の世界を描く。



一般図書

「効能別体にいいものレシピ87」

牧野直子/著 メディアファクトリー

おなじみの健康食材で簡単に作れる! 「肥満を防止する」「骨を丈夫に保つ」「腸の機能を整える」など、効能別に食材を挙げて、毎日の食事に取り入れやすいレシピを紹介。



一般図書

「マンチュリアン・リポート」

浅田次郎/著 講談社

昭和3年6月4日未明、張作霖に乗せた列車が日本の関東軍によって爆破された。一国の事実上の元首を独断で暗殺する暴挙に昭和天皇は激怒し、「真実」を知りたいと願った…。昭和史の闇に迫るミステリー。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

**飯豊町役場**

電話 0238-72-2111  
FAX 72-3827  
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp  
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

**借金問題に関する  
無料相談会のお知らせ**

- ◆内容／クレジット、サラ金、ローンなど借金問題に関して法律の専門家が相談にお答えします
- ◆日時・会場・予約電話番号
- ①11月15日(月) 長井市勤労センター ☎84-2111内線254
- ②11月24日(水) 米沢市役所 ☎0238-40-0525
- ③11月27日(土) 置賜総合支庁(米沢市) ☎0238-24-0999
- ※いずれも相談時間9:00～17:00
- ◆料金／無料
- ◆問合せ先／山形県消費生活センター ☎023-624-0999

**戦後強制抑留者の皆さんへ**

- 10月25日からシベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金の請求受付が始まりました。
- ◆対象／平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命の方
  - ◆受付期間／平成24年3月31日まで
  - ◆申請書類について／該当する方で、申請書類をお持ちでない場合は、下記までお問い合わせください
  - ◆問合せ先／独立行政法人平和祈念事業特別基金 ☎0570-059-204

**犯罪被害者支援県民のつどい**

- ◆日時／11月26日(金) 13:30～
- ◆場所／山形ビッグウイング(山形市)
- ◆内容／○チェロの演奏に合わせた「いのちの詩」作品披露 ○講演「性犯罪被害にあうということ」
- ◆入場料／無料
- ◆問合せ先／長井警察署警務課 ☎84-0110

**第4次町行財政改革大綱(案)  
ご意見をお寄せください**

現在、町では第4次行財政改革大綱の策定を進めています。素案を今月15日から町のホームページに掲載します。どうぞご覧いただきまして、皆さんのご意見やご感想をお寄せください。ご意見などは掲載ページからEメールにアクセスし、役場へ送信ください。

◆問合せ先／役場総務企画課新行財政改革担当 ☎72-2111内線231

**安心住まい体験教室**

高齢者が安心して暮らせる住まいづくりの体験教室を行っています。

- ◆日時／毎月第3土曜日 9:00～12:00
- ◆場所／環境モデル住宅 椿・町民総合センター「あ～す」前
- ◆内容／スタッフが、転倒防止対策や段差解消法などを器具や設備を使用しながら説明します
- ◆料金／無料
- ◆問合せ先 町地域包括支援センター ☎86-2233

**みんなあつまれ～！  
わくわくぐりぐら広場**

- ◆日時／12月5日(日) 10:30～11:30
- ◆会場／こどもみらい館
- ◆内容／○お話を聞こう！絵本・紙芝居の読み聞かせ ○作って遊ぼう！
- ◆参加費／無料
- ◆対象／おおむね3歳から小学3年の児童とその保護者
- ※子どもだけでも参加できます
- ◆申込締切／11月26日(金)まで
- ◆申込方法／下記まで電話で申し込み
- ◆問合せ先／町民総合センター「あ～す」 ☎72-3111

**トウキョウ・プラスシンフォニー  
コンサートのご案内**

- ◆日時／12月12日(日) 14:00開演
- ◆会場／町民総合センター「あ～す」
- ◆内容／トウキョウ・プラスシンフォニーによる金管10重奏
- ◆入場料
- 一般3,000円(ペア券5,000円)
- 高校生1,000円
- 小中学生無料(整理券必要)
- ◆問合せ先／町民総合センター「あ～す」 ☎72-3111

**2011年版県民手帳などの  
販売について**

役場総務企画課では、2011年版の「やまがた県民手帳」などを販売しています。なお、取り扱いは、役場での現金引き換えのみとなります。

- ◆品名・価格
- やまがた県民手帳／600円
- 農業日誌／1,400円
- ファミリー日誌／1,400円
- 新農家暦／490円
- ※役場のほかにも書店などでも販売しています

- ◆販売期間／12月17日(金)まで
- ◆申込・問合せ先／役場総務企画課総務情報室 ☎72-2111内線225

**地元県議会議員による  
地域議員協議会のご案内**

県議会では、地元議員による地域の課題や施策について審議を行う地域議員協議会を開催します。

- ◆日時／11月18日(木) 13:00～
- ◆場所／置賜総合支庁西庁舎(長井市)
- ◆参加方法／直接会場にお越しください
- ◆問合せ先／県議会議務局政策調査室 ☎023-630-2846

戸籍の窓

(10月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(添米) 川 安 仲 智 浩さん	市 小 杉 絵 美さん
(萩生) 木 村 辰 司さん	(白鷹) 紺 野 真 弓さん
(黒沢) 佐 藤 雄 一郎さん	(南陽) 山 口 美 穂さん

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
萩 渡 部 心 温くん	(寛之) 真由美	
小川 高 橋 頼 叶くん	(啓) さゆり	
中 石 井 桜 牙くん	(陽恵) 祐子	
萩 島 貫 杏 南ちゃん	(真陽) 樹子	
小川 五十公野 月 ちゃん	(一香) 奈子	
手ノ子 秋 保 凜 空くん	(和志) 寿帆	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
椿 辻 大 内 の ぶさん		86
黒沢 坪沼 梅 津 マスエさん		93
中 北新田 長 岡 吾 平さん		89
添川 小 松 新 助さん		72
高峰 西向 高 橋 みさ子さん		79
松原 清 水 貞 さん		89
椿 椿第一 土 田 常 雄さん		55
萩生 町西 長谷部 よ んさん		92
添川 船 山 けさのさん		95
萩生 中ノ浦 嶋 貫 久 夫さん		61
宇津沢 伊 藤 ま すさん		93

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

10月分 ( ) 内は対前月比				
世帯数	2,390 (-4)	転入	3	
人	男	3,984 (-3)	転出	11
	女	4,218 (-11)	出生	6
口計	8,202 (-14)	死亡	12	

米沢養護学校 「よねようまつり」のご案内

- ◆日時/11月20日(出) 9:30~12:15
- ◆場所/県立米沢養護学校(米沢市)
- ◆内容/○中学部、高等部、訪問教育、やまなみ学園分教室の作業学習で製作した製品販売 ○小学部児童の活動にかかわる展示など
- ◆問合せ先/山形県立米沢養護学校 ☎0238-38-6101

町の不妊治療費助成について

- 町では、子宝支援事業として不妊治療にかかる費用を助成しています。秘密は厳守します。気軽に相談ください。
- ◆不妊治療費の助成とは/子どもを望む夫婦が、不妊治療を受けている場合、その費用の一部を助成するもの
  - ◆対象/○不妊治療を最初に受けた日において、町内に引き続き1年以上居住している夫婦 ○医療保険の被保険者であり、町民税などの滞納のない夫婦
  - ◆助成額/不妊治療費の自己負担額の1/2で、通算して30万円まで
  - ◆申請に必要なもの/○健康福祉課で配布する指定の申請書 ○医療機関・保険薬局の領収書 ○印鑑
  - ◆その他/山形県置賜保健所(☎0238-22-3205)でも不妊治療費助成事業を行っています。まずはそちらにご相談いただき、該当にならなかった場合、町の助成事業をご利用いただくこととなります
  - ◆申請・問合せ先/町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

税務署からのお知らせ

遺族の方が年金として受給する生命保険金のうち、相続税の課税対象となった部分について、所得税の課税対象とならないとする最高裁判所の判決が出ました。

これにより平成17年分から平成21年分までに過剰に納税した部分について還付することとなりました。なお、平成17年分について、早い方は、今年12月末が還付できる期限となりますのでご注意ください。手続き方法や詳細は下記までお問い合わせください。

- ◆問合せ先/長井税務署 ☎84-1810 国税庁ホームページ [www.nta.go.jp](http://www.nta.go.jp)

生活応援ローンのお知らせ

- ◆生活応援ローン 自動車・除雪機購入、冠婚葬祭費、医療費など生活資金全般に利用できます。
- ◇対象者/会社や商店に労働組合がない、または職場に融資制度のない方
- ◇融資額/200万円以内
- ◇金利/年2.0% (固定金利)
- ◇保証料/年0.3%
- ◆保証料補給制度 町が一定の条件のもとに保証料の補給を行い、上記の融資において負担軽減を図ります。
- ◇補給内容/保証料の1/2
- ◇補給期間/融資実行日より5年間
- ◆申込・問合せ先 東北労働金庫長井支店 ☎84-1100 役場産業振興課商工観光室 ☎72-2111内線250

今年の文化祭は、町内5地区が同日に開催。目当てのプログラムになんとか間に合うようにと、時間を縫うようにして会場へ駆けつけます。早足になりつつも、やはり文化祭を見て回るのには楽しいもの。こんなすこい作品を創作される方が町内にいたのかと驚かされることもあります。

聞けば、役員の方と公民館職員の方々は、前日の夜中までかかって展示作業をされたとのこと。にぎわいの裏には、そんな努力が隠れています。来場者によるこんでもらいたい、その熱意が今年も伝わってきました。

(横山)



観世音菩薩（観音）は、三十三の姿に変え、人々を救う——。三十三観音巡礼は、この仏教の教えに基づく。

「観音様は慈悲しみがあり、知恵、家内安全、子孫繁栄などさまざまなご利益を授けくださる身近な仏様」と高橋玄舟さんは解説する。

置賜三十三観音は、最上・庄内と共に「出羽百観音」と呼ばれ、古くから信仰を集めてきた西国三十三観音になり、直江兼続の妻お船の方が定めたと伝えられるが、それを証明する文書はまだ見つかっていない。

高伝寺の黒沢観音をはじめ、町内では4つの観音堂が三十三観音に含まれ、萩生観音の十一番を除けば、二番、三番、四番と飯豊町のものが先頭に位置しているのが興味深い。

「先輩方にも聞いたのですが、番号がどういうルールに基づいているのか、だれもわかりませんでした」と玄舟さんも首をかしげる。

これまで置賜三十三観音には、宗派の違いなどから連携した組織はなかった。片や庄内札所三十三霊場では今年、「開創三百年記念」として、安置されてい

## お寺へ行こうよ。

新たな観光資源として注目されている観音巡礼。置賜地方でも宗派を乗り越え置賜三十三観音札所会が設立された。初代会長に就任した高伝寺住職の高橋玄舟さん（黒沢）に同会に込める思いや巡礼のコツなどを聞いた。

### 置賜三十三観音札所会会長 高橋玄舟さん・黒沢



る観世音菩薩像を一斉に開帳する企画を実施し、全国の巡礼者と観光客でにぎわいをみせた。温泉旅館などの観光業界や行政機関の働きかけを受け、今年3月、置賜三十三観音札所会は設立にこぎつけた。初代会長には、玄舟さんが就任した。

「話し合いや勉強会から3年間を費やし、ようやく置賜が一つにまとまることができました。33カ寺が連携し、同じ方向に進もうとしているのは大きな一歩だと思えます」と玄舟さんはその意義を話す。

大河ドラマ「天地人」が放送された年、高伝寺には400人近い人たちが県内外から訪れた。例年でも100人以上が巡礼する。最近では若い人の姿も見られるようになり、新たな観光資源として期待を集める。

実は、当会設立までの課題は宗派の違いだけではなかった。多くの住職は別に仕事をしながら僧職をこなす日々。平日の巡礼者への対応は難しいものがあった。さらに住職の高齢化や後継者不足により三十三観音の中には、無人の寺が増え、地元の人たちが観音堂を管理しているという現状もあった。「地域の歴史的遺産である観

## 置賜三十三観音札所

1 上小菅観音（米沢市）  
金松寺

2 高峰観音（飯豊町）  
源居寺

3 黒沢観音（飯豊町）  
高伝寺

4 中村観音（飯豊町）  
天養寺

5 九野本観音（長井市）  
観音寺・別当寺長泉寺

6 時庭観音（長井市）  
正法寺

7 高玉観音（白鷹町）  
円福寺

8 深山観音（白鷹町）  
観音寺

9 杉沢観音（白鷹町）  
永泉寺

10 宮ノ観音（長井市）  
遍照寺

11 萩生観音（飯豊町）  
瑞雲寺

12 赤湯観音（南陽市）  
東正寺

13 関寺観音（白鷹町）  
円光寺

14 置霊観音（川西町）  
大光院

15 火の目観音（川西町）  
弥勒院・別当寺大光院

16 鮎貝観音（白鷹町）  
泉蔵院

17 芦沢観音（長井市）  
雲洞庵

#### 置賜2 番高峰観音 （珠淋山 源居寺）

昭和46年に着工された白川ダム建設工事に伴い高峰から、現在の手ノ子に移転



#### 置賜3 番黒沢観音 （曹伯山 高伝寺）

元々は萩生の吉祥寺にあったが、昭和6年、米坂線の敷設で参道中断のため現在地に移転。





みんな忙しい日々を送っているだからこそ心を静める時間はとても貴重です

Takahashi Gensyu

**Profile**

たかはし・げんしゅう ●1934年2月、長井市生まれ。65年に曹洞宗高伝寺24世となる。僧職の傍ら町教育委員会教育次長、町社会福祉協議会会長などの要職を歴任。黒沢在住

音堂を将来にわたって大切にしていきたいかった」と玄舟さんは、会を設立したもう一つの理由を明かす。多くの人が観音堂を訪れることで、管理する寺や地域の人たちの気配りが、かつてのように十分に行き届くようになるのでは、と期待するのだ。

一昔前まで、お寺は地域の交流の場でもあった。仲間の親睦を深める目的で、住民が主体となり、観音講、大宮講、金比羅講など信仰上の催事が頻繁に行われていた。しかし時代の移り変わりと共に、そういったものは影を潜めつつある。

「みんな忙しい日々を送っている。だからこそ、心を静める時間はとても貴重なのです」と玄舟さんは話す。観音堂の前に立ち、目を閉じて静かに手を合わせると、自然と心が落ち着く。「観音様へ心を尽くす」気持ちがあれば、巡礼はだれでもできることだという。

「普段着のままでもかまいません。自分の都合に合わせて日数をかけ、順番も札所番号にとらわれず、近くのものからはじめていくといいでしょう」と玄舟さんはアドバイスする。

今日のはのんびりと、近くのお寺まで歩いて行くのも悪くない。



**置賜4番中村観音**  
(松尾山 天養寺)

室町時代の建造で、安置の木造聖観音立像と共に県指定文化財。昭和55年、全面的修理工事を実施



**置賜11番秋生観音**  
(大行院 瑞雲寺)

長手山に建立されているので、「ながて観音」とも呼ばれ、堂内には貴重な絵馬が奉納されている

18 新山観音 (南陽市)

珍蔵寺

19 笹野観音 (米沢市)

幸徳院

20 仏坂観音 (白鷹町)

十王院・別当寺 大聖院

21 小野川観音 (米沢市)

宝珠寺

22 広野観音 (白鷹町)

真言院

23 川井観音 (米沢市)

桃源院

24 桑山観音 (米沢市)

普門寺

25 赤芝観音 (米沢市)

竜性院

26 遠山観音 (米沢市)

西明寺

27 高岡観音 (白鷹町)

相応院

28 宮崎観音 (南陽市)

網正寺

29 松岡観音 (白鷹町)

岡応寺・別当寺 瑞岩寺

30 長谷観音 (南陽市)

宝積坊

31 五十川観音 (長井市)

正寿院

32 森の観音 (長井市)

遍照寺

33 浅川観音 (米沢市)

泉養院

番外 亀岡文殊観音堂 (高島町)

大聖寺

置賜三十三観音札所事務局  
第21番 小野川観音 (宝珠寺)  
☎0238(32)2929

Go to Temple

文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真/10月23日に行われた「宇津峠歩こう会」にて  
左・宇津峠「イザベラ・バード遠望の地」からの眺め 右上・道普請供養塔 右下・馬頭観世音碑

## Treasures in Iide Town

2

selection

# 宇津峠の道普請供養塔・馬頭観世音碑

平成17年度町有形考古資料に指定

## 解説

### 宇津峠の道普請供養塔 馬頭観世音碑

越後街道十三峠は、内陸（米沢）と日本海（新潟）を結ぶ重要な交易道路であった。その中で宇津峠は、急峻な山道から街道中の難所として知られていた。

頂上には、弘化2年（1845）建立の道普請供養塔があり、施主4名と街道改修事業に関係した人名と人足数が刻まれている。幕末期米沢藩が実施した事業の内容がわかる貴重な記念碑である。

一方、馬頭観世音碑は、天保10年（1839）宇津峠頂上（旧道跡）に馬方中が施主となり建立。幕末期越後街道の流通に果たした牛馬の役割の大きさが偲ばれる貴重な信仰碑である。

2つの石碑は、共に平成17年10月に町有形考古資料に指定された。

※荷物を運ぶ業者の総称

## 今後の課題は若い人の積極的な参加

県内外から多くの参加者を迎え、7回目となる「宇津峠歩こう会」を10月23日に開催しました。今年も晴天に恵まれ、美しい古道の散策を多くの皆さんに楽しんでいただきました。この会の目的は、地域の歴史・文化・自然の大切さを肌で感じ、宇津峠という遺産を将来に継承していくことです。宇津峠には、道普請供養塔、馬頭観世音のほかに切腹松跡、裸杉、介茶屋跡など歴史的価値の高いものが多く現存しています。

保存にあたっての課題は、四季を通してだれでも安全に楽しむことができる環境の整備と若い人の積極的な参加です。地域の皆さんと行政の協力をいただきながら、今後も宇津峠を生かしたまちづくりに努めていきます。

## Interview

### 守り続ける人たち



手ノ子地区協議会  
宇津峠部会長

たか はし じゅん  
高橋 純さん  
(手ノ子)